

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

・建物並びに器具及び備品—定額法

・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を0とする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金—退職金規定に基づく期末支給額を計上する。

・賞与引当金—支給見込額を該当期間で日割り計算し計上する。

(3) 貯蔵品の評価方法

平成28年3月31日 社援発0331第39号 厚生労働省老健局長「社会福祉法人会計基準の制定に伴う会計処理等に関する運用上の取扱いについて」による

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

神戸市民間社会福祉施設職員退職手当共済

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の財務諸表

第一号の様式(資金収支計算書)

第二号の様式(事業活動計算書)

第三号の様式(貸借対照表)

(2) 事業区分別内訳表

省略

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表

省略

(4) 収益事業における拠点区分別内訳表
非該当

(5) 拠点区分におけるサービス区分の内容
ケアハウス南風拠点(社会福祉事業)
「特定施設入居者生活介護」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地				
建物	421,585,054	0	17,688,884	403,896,170
建物付属設備	81,258,698	0	12,128,535	69,130,163
定期預金				
投資有価証券				
合計	502,843,752	0	29,817,419	473,026,333

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供されている資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物(基本財産)	403,896,170 円
建物付属設備(基本財産)	69,130,163 円
計	473,026,333 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金	223,470,000 円
---------	---------------

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	589,629,451	185,733,281	403,896,170
構築物	21,464,155	17,180,670	4,283,486
建物付属設備	242,693,464	173,563,301	69,130,163
工具器具及び備品	30,972,845	25,500,252	5,472,594
車輛運搬費	3,923,000	3,922,999	1
ソフトウェア	537,840	1	537,839
リース債務	55,635,363	52,163,631	3,471,732
合計	944,856,118	458,064,135	486,791,985

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債権

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

該当なし